

令和5年度（2023年度）第3回東海市まちづくり評価委員会
次 第

日 時：令和5年（2023年）7月3日（月）
午後2時から

場 所：市役所302会議室（3階）

1 開 会

2 議 題

令和4年度（2022年度）のまちづくりに関する評価（施策評価）について

(1) 都市基盤（6施策）

(2) 地域づくり・行政経営（4施策）

3 今後の予定

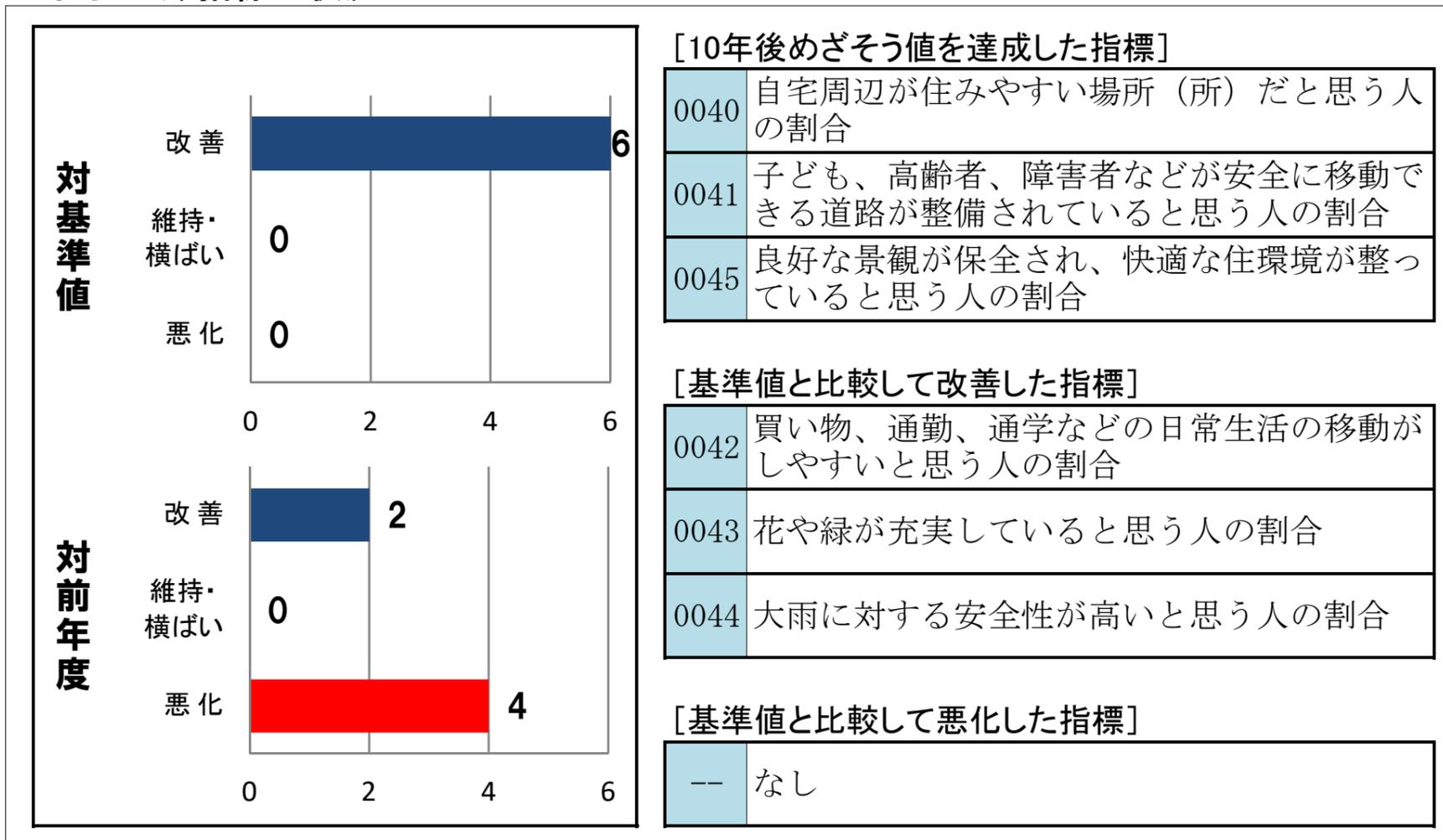
分野別成果動向一覧 第5章「都市基盤」

《施策別成果動向一覧》

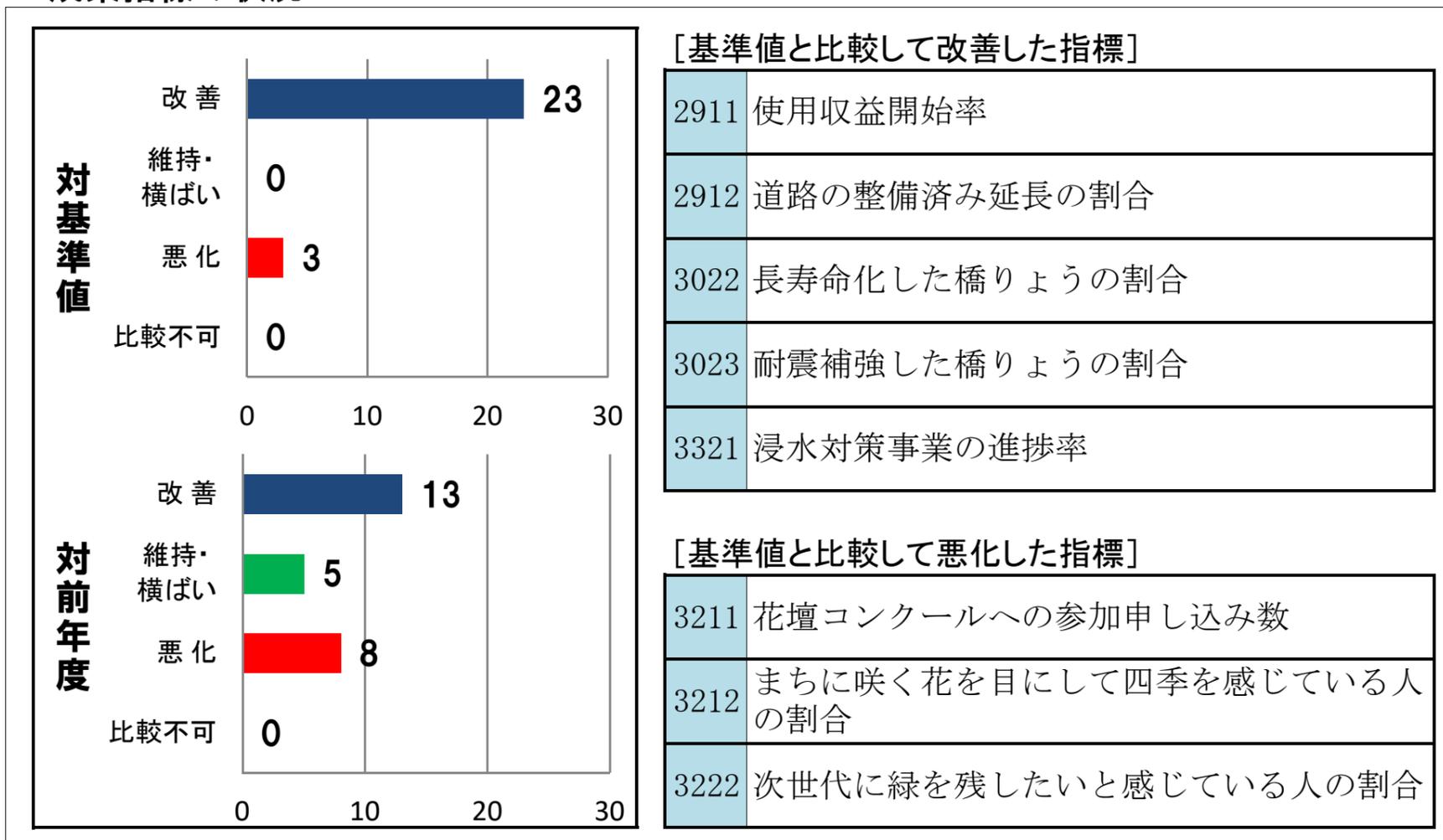
節	番号	施策名	成果動向	まちづくり指標の推移						成果指標の推移							
				対基準値			対前年度			対基準値				対前年度			
				改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可
土地開発	29	地域の特性を生かした土地利用を推進する	順調	1	0	0	1	0	0	5	0	0	0	3	2	0	0
道路・交通	30	だれもが安全に安心して通行できる道路をつくる	横ばい	1	0	0	0	0	1	5	0	0	0	1	3	1	0
	31	快適に移動がしやすい交通環境をつくる	横ばい	1	0	0	0	0	1	6	0	0	0	4	0	2	0
公園・緑地	32	花と緑の豊かなまちなみをつくる	順調	1	0	0	1	0	0	3	0	3	0	2	0	4	0
河川	33	浸水被害がない地域にする	順調	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0
まちなみ	34	良好な都市景観と快適な住環境をつくる	順調	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	0

《まちづくり評価委員会の評価》

《まちづくり指標の状況》



《成果指標の状況》



《第5章「都市基盤」指標の状況》

【まちづくり指標】「自宅周辺が住みやすい場所（所）だと思ふ人の割合」はじめ3指標が10年後めざそう値（R5(2023)）を達成したほか、「買い物、通勤、通学などの日常生活の移動がしやすいと思ふ人の割合」など、基準値と比較して全6指標が改善した。

【成果指標】「使用収益開始率」はじめ23指標、分野全体で88.5%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は、3指標（11.5%）で、前年度より悪化した指標は、8指標（30.7%）となった。

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

施策 29 地域の特性を生かした土地利用を推進する

体系	都市基盤			理念	活力
章	都市基盤				
めざすまちの姿	住宅地、農地、商業地、工業地などに地区が区分けされ、土地が有効利用されている				
施策主管課	都市計画課				

まちづくり指標

指標	0040	指標	
方向性	→	方向性	
自宅周辺が住みやすい場所(所)だと思ふ人の割合 [%] 			
対基準値:6.0ポイント増/基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:130.4% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:土地区画整理事業による都市基盤の整備が順調に進んでいることが影響していると考え。			
指標の推移	対基準値	改善	対前年度
指標の推移	改善		

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調と評価する。
 まちづくり指標は、基準値から6.0ポイント向上している。これは市内における土地区画整理事業が着実に実施され、道路や公園などの都市基盤の整備が進んだためと考える。
 今後も、将来にわたり持続可能な集約型まちづくりを目指し、市民ニーズの把握に努めながら、調和のとれたまちづくりを推進していく。

成果動向	順調	横ばい	順調でない
------	----	-----	-------

単位施策及び成果指標の動向等

単位施策の名称	成果動向	成果指標の名称	対基準値	対前年度
01 中心市街地を活性化させる	順調	2911 使用収益開始率	改善	横ばい
		2912 道路の整備済み延長の割合	改善	横ばい
		2913 中心市街地エリアの人口	改善	改善
事務事業の成果状況	向上 (0) 維持 横ばい (4) 低下 (0)			
02 土地を有効活用する	順調	2921 住居、農地、店舗、工場などが整然としていると思ふ人の割合	改善	改善
事務事業の成果状況	向上 (0) 維持 横ばい (6) 低下 (0)			
03 活気のある地区拠点をつくる	順調	2931 土地区画整理事業の施行済地区内の土地の有効利用率	改善	改善
事務事業の成果状況	向上 (6) 維持 横ばい (1) 低下 (0)			
事務事業の成果状況	向上 維持 横ばい 低下			
事務事業の成果状況	向上 維持 横ばい 低下			

東海市施策評価システム 施策評価表

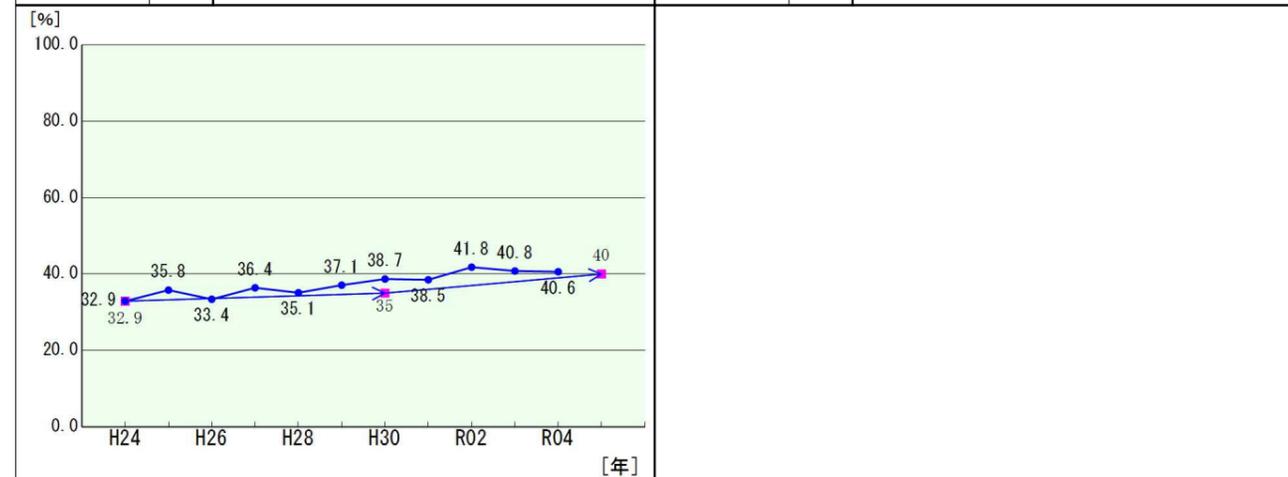
出力日: 2023年6月16日

施策	30 だれもが安全に安心して通行できる道路をつくる
----	---------------------------

体系			
章	都市基盤	理念	安心
めざすまちの姿	子ども、高齢者、障害者などが安全に移動できる		
施策主管課	土木課		

まちづくり指標

指標	0041	子ども、高齢者、障害者などが安全に移動できる道路が整備されていると思う人の割合	指標	
方向性	➔		方向性	



対基準値:7.7ポイント増 / 基準値からの推移:
 10年後めざそう値達成率:108.5%
 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
 要因:都市計画道路名古屋半田線の供用開始や、道路施設の適切な修繕の実施による向上と考える。

指標の推移	対基準値	改善	対前年度	悪化	指標の推移
-------	------	----	------	----	-------

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 まちづくり指標は前年度より0.2ポイント減少しているものの、10年後めざそう値を達成している。地区別で大田地区のまちづくり指標が基準値を大きく上回っていることは、幹線道路や土地区画整理事業における道路が整備され、また、計画的に維持修繕を実施したことが要因と考える。しかし、道路整備を進んでいるものの、供用開始に至っていない道路が多いことが前年度より指標値が減少している要因と考える。
 今後も引き続き、駅及び公共施設周辺を中心に道路改良を進めるとともに、橋りょう長寿命化等の維持修繕や耐震化を計画的に進めていく。

成果動向	順調	横ばい	順調でない
------	----	-----	-------

単位施策及び成果指標の動向等

単位施策の名称	成果動向	成果指標の名称		対基準値	対前年度
01 安全な道路環境をつくる	横ばい	3011	都市計画道路網の歩道整備率	改善	横ばい
		3012	歩道の設置が十分だと思う人の割合	改善	悪化
		事務事業の成果状況		向上 (2)	維持 横ばい (13)
02 道路施設の維持修繕や耐震化を進める	横ばい	3021	維持修繕した道路の割合	改善	改善
		3022	長寿命化した橋りょうの割合	改善	横ばい
		3023	耐震補強した橋りょうの割合	改善	横ばい
事務事業の成果状況		向上 (0)	維持 横ばい (8)	低下 (0)	
事務事業の成果状況		向上	維持 横ばい	低下	
事務事業の成果状況		向上	維持 横ばい	低下	
事務事業の成果状況		向上	維持 横ばい	低下	
事務事業の成果状況		向上	維持 横ばい	低下	

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

施策	31 快適に移動がしやすい交通環境をつくる
----	-----------------------

体系	都市基盤			理念	快適
章	都市基盤				
めざすまちの姿	買い物、通勤、通学などの日常生活の移動がしやすい				
施策主管課	土木課				

まちづくり指標

指標	0042	買い物、通勤、通学などの日常生活の移動がしやすいと思う人の割合	指標	
方向性	→		方向性	
対基準値: 4.7ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率: 97.9% 年齢別: 差異有、職業別: 差異有、地区別: 差異有 要因: 都市計画道路名古屋半田線の全線開通や、公共交通機関の利便性の向上によるものと考え。				
指標の推移	対基準値	改善	対前年度	悪化

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。 まちづくり指標は、前年度から0.7ポイント減少したが基準値と比較し、4.7ポイント増加した。地区別で大田地区のまちづくり指標が基準値から高い数値であることは、土地区画整理事業による道路整備が進んでいることや公共交通機関の利便性が高いことが要因と考える。一方、道路整備は進んでいるものの、多くの路線で供用開始に至っていないことが、前年度より指標値が減少している要因と考える。 今後も、幹線道路網の整備を進めるとともに、利用者のニーズにあわせた公共交通の充実に努めていく。			
成果動向	順調	横ばい	順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

単位施策の名称	成果動向	成果指標の名称	対基準値	対前年度
01 幹線道路をつくる	横ばい	3111 都市計画道路の整備率	改善	改善
		3112 市内を車で移動する時にスムーズにできていると思う人の割合	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上 (0) 維持 横ばい (15) 低下 (0)		
02 公共交通機関の利便性を高める	順調	3121 らんらんバスの年間利用者数	改善	改善
		3122 鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすいと思う人の割合	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上 (0) 維持 横ばい (4) 低下 (0)		
03 自動車・自転車などの駐車スペースを確保する	順調	3131 公共施設や駅周辺に駐車場や駐輪場が十分設置されていると思う人の割合	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上 (0) 維持 横ばい (0) 低下 (0)		
04 市内をわかりやすく案内する	横ばい	3141 公共施設への案内標識が充実していると思う人の割合	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上 (0) 維持 横ばい (1) 低下 (0)		
事務事業の成果状況	向上			
	維持 横ばい			
	低下			

東海市施策評価システム 施策評価表

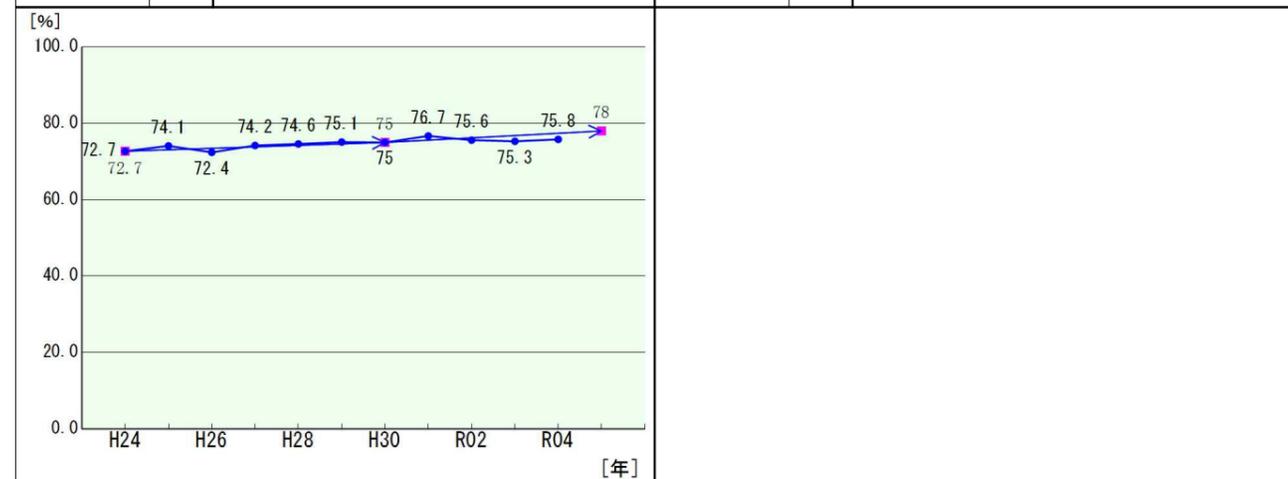
出力日: 2023年6月16日

施策 32 花と緑の豊かなまちなみをつくる

体系			
章	都市基盤	理念	快適
めざすまちの姿	まちに花や緑が豊かである		
施策主管課	花と緑の推進課		

まちづくり指標

指標	0043	指標	
方向性	→	方向性	



対基準値: 3.1ポイント増 / 基準値からの推移:
 10年後めざそう値達成率: 58.5%
 年齢別: 差異無、職業別: 差異無、地区別: 差異無
 要因: 公園整備及び花と緑のまちづくりの推進と、適切な維持管理ができたことによるものと想定。

指標の推移	対基準値	改善	対前年度	改善	指標の推移
-------	------	----	------	----	-------

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調と評価する。
 まちづくり指標は、基準値から3.1ポイント、前年度から0.5ポイント向上している。その理由としては、公園緑地整備及び花と緑のまちづくりの推進と、適切な維持管理を実施していることが要因であると考えられる。
 今後も引き続き、公園施設の長寿命化と整備を計画的に実施するとともに、市民との協働による花いっぱいでのまちづくりの推進や、次世代に緑を引き継ぐ取り組みを進めていく。

成果動向	順調	横ばい	順調でない
------	----	-----	-------

単位施策及び成果指標の動向等

単位施策の名称	成果動向	成果指標の名称	対	対
			基準値	前年度
暮らしのなかを花いっぱいにする	順調でない	3211 花壇コンクールへの参加申し込み数	悪化	悪化
		3212 まちに咲く花を目にして四季を感じている人の割合	悪化	悪化
	事務事業の成果状況	向上 (0) 維持 横ばい (1) 低下 (1)		
豊かな緑につつまれたまちにする	横ばい	3221 公共施設緑地面積	改善	悪化
		3222 次世代に緑を残したいと感じている人の割合	悪化	改善
	事務事業の成果状況	向上 (1) 維持 横ばい (4) 低下 (1)		
魅力ある公園 街路樹をつくる	順調	3231 一人当たりの公園面積	改善	改善
		3232 まちの公園・街路樹などに満足している市民の割合	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上 (4) 維持 横ばい (12) 低下 (0)		
事務事業の成果状況	向上 維持 横ばい 低下			
事務事業の成果状況	向上 維持 横ばい 低下			

東海市施策評価システム 施策評価表

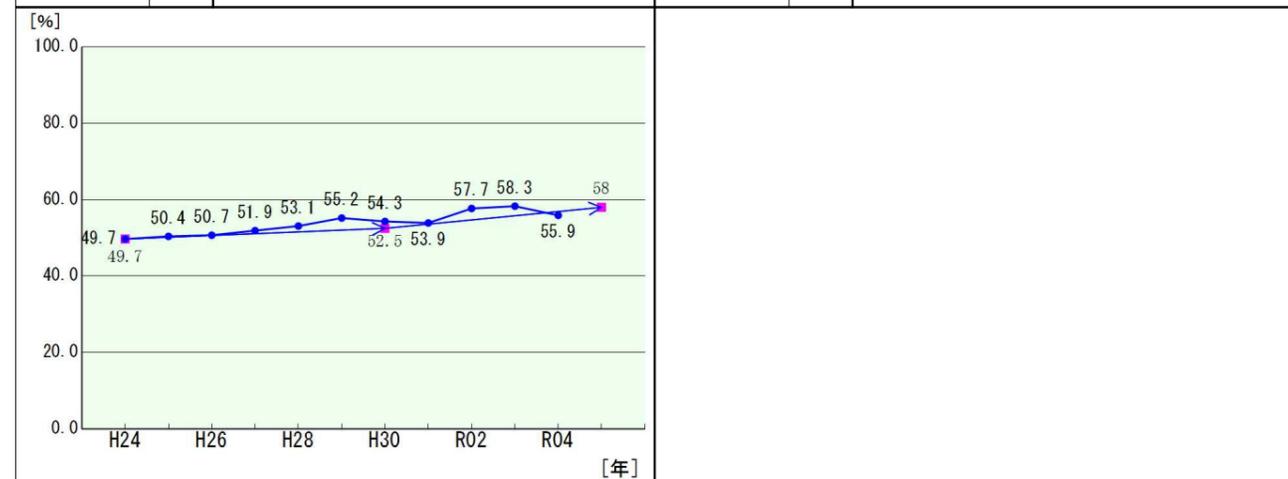
出力日: 2023年6月16日

施策	33 浸水被害がない地域にする
----	-----------------

体系			
章	都市基盤	理念	安心
めざすまちの姿	浸水被害に不安がなく、だれもが安心して生活している		
施策主管課	土木課		

まちづくり指標

指標	0044	指標	
方向性	→	方向性	



対基準値: 6.2ポイント増 / 基準値からの推移:
 10年後めざそう値達成率: 74.7%
 年齢別: 差異有、職業別: 差異有、地域別: 差異有
 要因: 調整池の整備等により浸水被害の低減に繋が
 り改善したと想定。地盤の高い地域の割合が高い。

指標の推移	対基準値	改善	対前年度	悪化	指標の推移
-------	------	----	------	----	-------

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調と評価する。
 まちづくり指標は、基準値から6.2ポイント増加している。調整池の整備や池管理者の協力のもとため池を一時貯留施設として活用でき、浸水被害の低減に繋がったことが指標改善の要因と考える。
 今後は、100mm/h安心プランに基づく手作りハザードマップの作成や水防訓練への参加等、ソフト対策を充実させ、地域の防災意識の高揚を図り、大雨に対する安全性を高める取り組みを進めていく。

成果動向	順調	横ばい	順調でない
------	----	-----	-------

単位施策及び成果指標の動向等

単位施策の名称	成果動向	成果指標の名称		対基準値	対前年度
01 計画的な雨水処理を行う	順調	3311	排水区域の整備率	改善	改善
		事務事業の成果状況		向上	(0)
				維持 横ばい	(2)
				低下	(0)
02 浸水対策を推進する	順調	3321	浸水対策事業の進捗率	改善	改善
		事務事業の成果状況		向上	(1)
				維持 横ばい	(1)
				低下	(0)
				向上	
				維持 横ばい	
				低下	
				向上	
				維持 横ばい	
				低下	
				向上	
				維持 横ばい	
				低下	

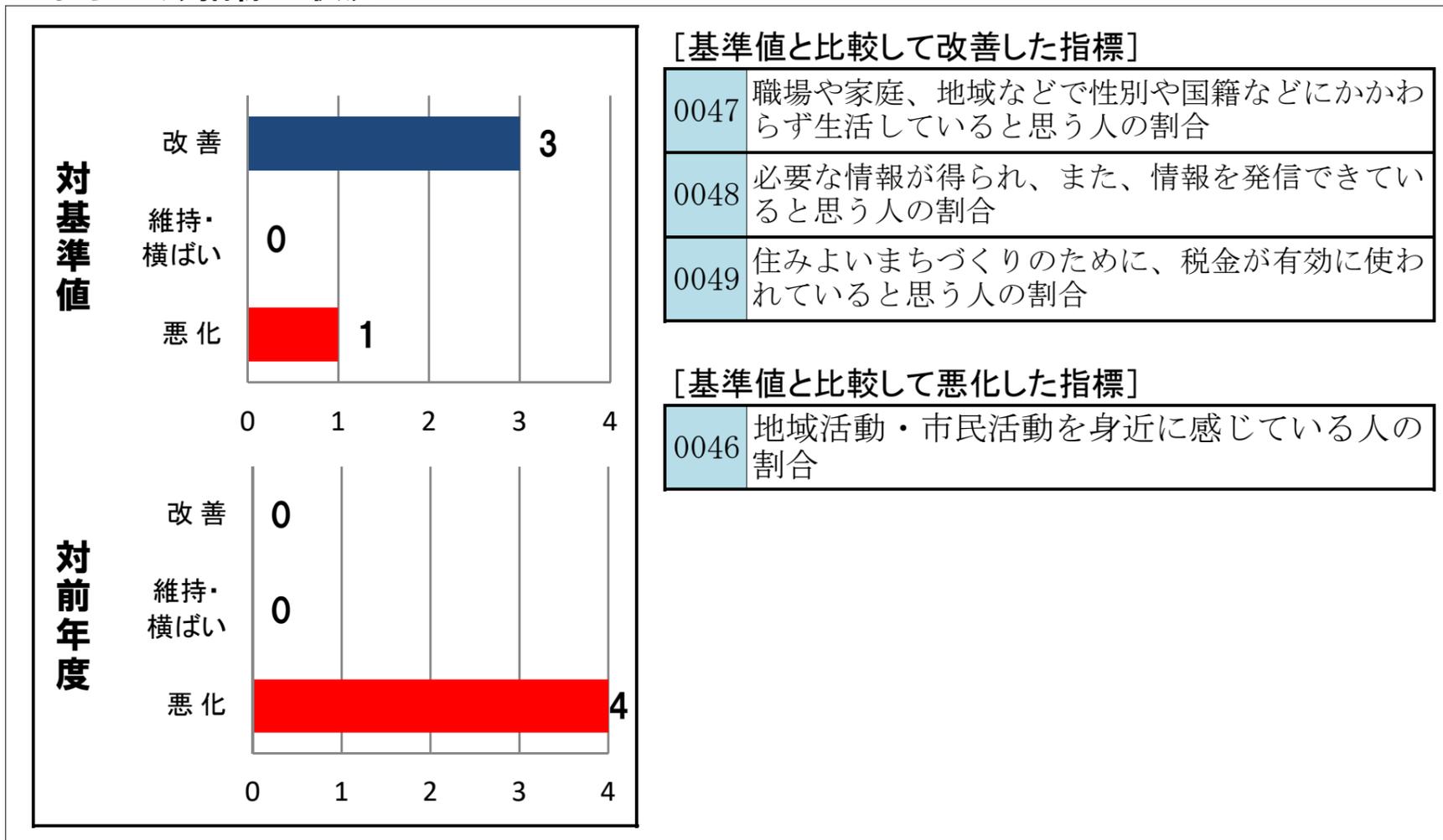
分野別成果動向一覧 第6章「地域づくり・行政経営」

《施策別成果動向一覧》

節	番号	施策名	成果動向	まちづくり指標の推移						成果指標の推移							
				対基準値			対前年度			対基準値				対前年度			
				改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可
市民参加	35	地域が主役のまちづくりを推進する	順調でない	0	0	1	0	0	1	2	0	4	0	2	0	4	0
	36	すべての人が交流・共生できるまちをつくる	順調	1	0	0	0	0	1	4	0	2	0	2	0	4	0
情報	37	情報交流が図られたまちをつくる	横ばい	1	0	0	0	0	1	3	0	1	0	1	0	3	0
行政計画	38	効率的で健全な行財政運営を進める	順調	1	0	0	0	0	1	4	0	0	2	2	2	0	2

《まちづくり評価委員会の評価》

《まちづくり指標の状況》



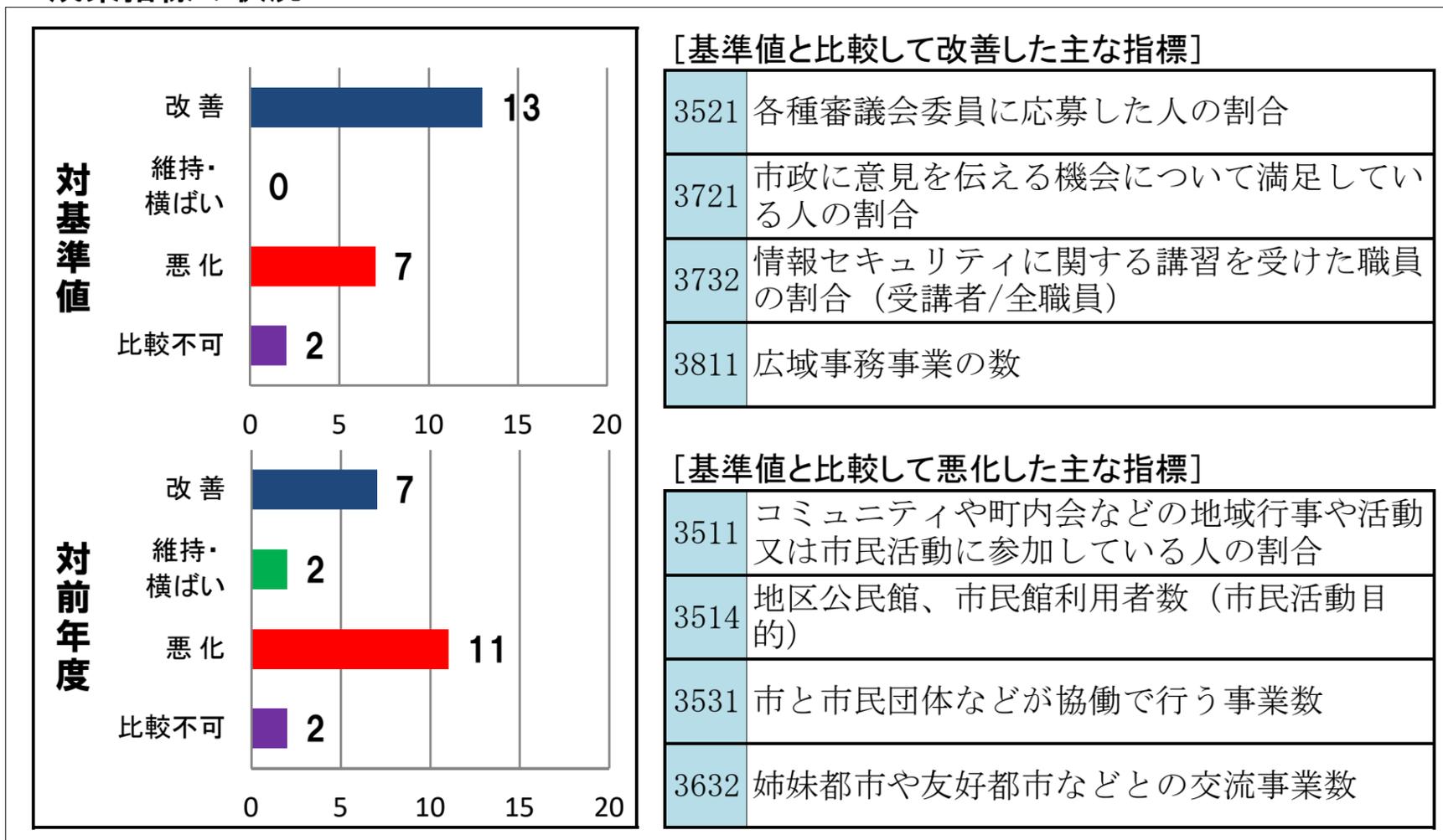
[基準値と比較して改善した指標]

0047	職場や家庭、地域などで性別や国籍などにかかわらず生活していると思う人の割合
0048	必要な情報が得られ、また、情報を発信できていると思う人の割合
0049	住みよいまちづくりのために、税金が有効に使われていると思う人の割合

[基準値と比較して悪化した指標]

0046	地域活動・市民活動を身近に感じている人の割合
------	------------------------

《成果指標の状況》



[基準値と比較して改善した主な指標]

3521	各種審議会委員に応募した人の割合
3721	市政に意見を伝える機会について満足している人の割合
3732	情報セキュリティに関する講習を受けた職員の割合（受講者/全職員）
3811	広域事務事業の数

[基準値と比較して悪化した主な指標]

3511	コミュニティや町内会などの地域行事や活動又は市民活動に参加している人の割合
3514	地区公民館、市民館利用者数（市民活動目的）
3531	市と市民団体などが協働で行う事業数
3632	姉妹都市や友好都市などとの交流事業数

《第6章「地域づくり・行政経営」指標の状況》

【まちづくり指標】「職場や家庭、地域などで性別や国籍などにかかわらず生活していると思う人の割合」など、基準値と比較して3指標（75.0%）が改善した。
 一方、基準値以下となった指標は「地域活動・市民活動を身近に感じている人の割合」1指標（25.0%）となった。

【成果指標】「各種審議会委員に応募した人の割合」はじめ12指標、分野全体で59.1%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は、7指標（31.8%）で、前年度より悪化した指標は、11指標（50.0%）となった。

なお、「経常収支比率」及び「実質公債費比率」については7月中旬に取得予定である。

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

施策 35 地域が主役のまちづくりを推進する

体系			
章	地域づくり・行政経営	理念	いきいき
めざすまちの姿	地域が主役となって、まちづくりを進めている		
施策主管課	市民協働課		

まちづくり指標			
指標	0046	指標	
方向性	→	地域活動・市民活動を身近に感じている人の割合	方向性
<p>対基準値: 5.6ポイント減 / 基準値からの推移: × 10年後めざそう値達成率: -112.0% 年齢別: 差異有、職業別: 差異有、地区別: 差異有 要因: 市民ニーズの多様化や社会環境の変化によって地域活動の展開が縮小していると想定。</p>			
指標の推移	対基準値	悪化	対前年度
指標の推移		悪化	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)			
<p>施策の成果動向は、順調でないと評価する。 まちづくり指標は、基準値から5.6ポイント低下し、年齢別では65歳以上の数値の低下が顕著である。これは、新型コロナウイルス感染症をはじめ少子高齢化、定年延長等の社会環境の変化により、若い世代に限らず高齢者の地域活動への参加が困難になっていることが主な要因と考える。 今後もコミュニティを市の重要なパートナーとして、地域交流の推進をはじめ福祉や防災等の課題を各種団体等と連携・協力し、地域が主体的に解決する仕組みづくりを進めるため、緑陽をはじめ4つのモデル地区を中心とした取り組みを展開する必要がある。</p>			
成果動向	順調	横ばい	順調でない

単位施策及び成果指標の動向等						
単位施策の名称	成果動向	成果指標の名称	対基準値	対前年度		
01 地域活動・市民活動を推進する	順調でない	3511 コミュニティや町内会などの地域行事や活動又は市民活動に参加している人の割合	悪化	悪化		
		3512 地域や隣同士でのつきあいを大切にしている人の割合	悪化	悪化		
	事務事業の成果状況	向上 (1)	3513 市民活動センター来館者数(市民活動目的)	改善	改善	
		維持 横ばい (7)	3514 地区公民館、市民館利用者数(市民活動目的)	悪化	改善	
	低下 (0)					
02 市民参画を推進する	順調	3521 各種審議会委員に応募した人の割合	改善	悪化		
	向上 (0)					
	維持 横ばい (0)					
	低下 (0)					
03 市民との協働を推進する	順調でない	3531 市と市民団体などが協働で行う事業数	悪化	悪化		
	向上 (0)					
	維持 横ばい (2)					
	低下 (0)					
事務事業の成果状況	向上					
	維持 横ばい					
	低下					
事務事業の成果状況	向上					
	維持 横ばい					
	低下					

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

施策 36 すべての人が交流・共生できるまちをつくる

体系	地域づくり・行政経営			理念	ふれあい
章	地域づくり・行政経営				
めざすまちの姿	性別や国籍などにかかわらず、いきいきと生活している				
施策主管課	女性・子ども課				

まちづくり指標																			
指標	0047	職場や家庭、地域などで性別や国籍などにかかわらず生活していると思う人の割合	指標																
方向性	→		方向性																
<table border="1"> <caption>指標推移表</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>58.7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>59.3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>59.1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>60.6</td></tr> <tr><td>R02</td><td>62.9</td></tr> <tr><td>R04</td><td>63</td></tr> </tbody> </table>						年	割合 [%]	H24	58.7	H26	59.3	H28	59.1	H30	60.6	R02	62.9	R04	63
年	割合 [%]																		
H24	58.7																		
H26	59.3																		
H28	59.1																		
H30	60.6																		
R02	62.9																		
R04	63																		
対基準値: 2.2ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率: 51.2% 年齢別: 差異有、職業別: 差異有、地区別: 差異無 要因: 男女共同参画や国際理解への意識は向上している。特に学生など若年層が高い。																			
指標の推移	対基準値	改善	対前年度	悪化	指標の推移														

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)			
施策の成果動向は、順調と評価する。 まちづくり指標は、対基準値で2.2ポイント増加し、年齢別では幅広い世代で数値が高く、特に若い世代の数値が高い。指標の改善には社会動向が大きく影響していると考え、男女共同参画の啓発や国際交流への関心を高めるためのイベントの継続に加え、SNSなどを活用した情報発信や従来の事業を一部オンラインで実施したことによる効果と考える。 今後も引き続き、すべての人が交流・共生できるまちづくりのため意識啓発を図っていくとともに、様々な分野での交流等のあり方について事業内容を検討していく必要がある。			
成果動向	順調	横ばい	順調でない

単位施策及び成果指標の動向等					
単位施策の名称	成果動向	成果指標の名称	対基準値	対前年度	
01 男女共同参画を推進する	横ばい	3611 職場や家庭、地域などで性別にかかわらず活動していると思う人の割合	改善	悪化	
		3612 審議会、委員会などの女性委員の登用率	改善	悪化	
		事務事業の成果状況	向上 (0)	維持 横ばい (3)	低下 (0)
02 国際理解を深める	順調	3621 国際交流に関心がある人の割合	改善	改善	
		3622 職場や家庭、地域などで国籍にかかわらず活動していると思う人の割合	改善	悪化	
		事務事業の成果状況	向上 (0)	維持 横ばい (2)	低下 (0)
03 都市間交流を推進する	順調でない	3631 姉妹都市や友好都市などとの交流が活発に行われていると思う人の割合	悪化	悪化	
		3632 姉妹都市や友好都市などとの交流事業数	悪化	改善	
		事務事業の成果状況	向上 (0)	維持 横ばい (1)	低下 (1)
事務事業の成果状況	向上				
	維持 横ばい				
	低下				
事務事業の成果状況	向上				
	維持 横ばい				
	低下				

東海市施策評価システム 施策評価表

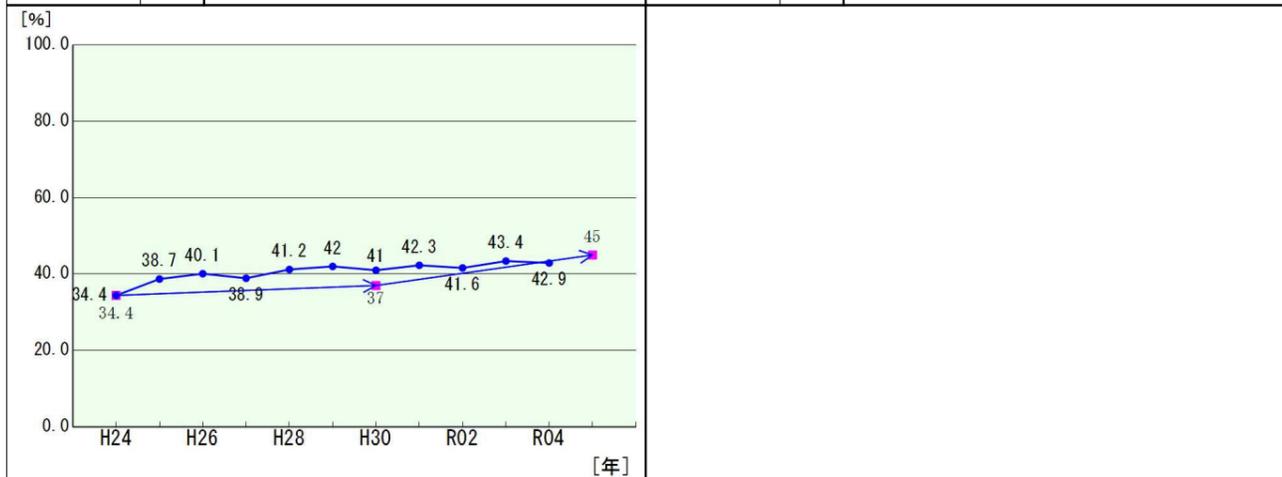
出力日: 2023年6月16日

施策 37 情報交流が図られたまちをつくる

体系			
章	地域づくり・行政経営	理念	快適
めざすまちの姿	地域や市の情報を得ることができ、情報を発信しやすい環境が整っている		
施策主管課	広報課		

まちづくり指標

指標	0048	必要な情報が得られ、また、情報を発信できていると思う人の割合	指標	
方向性	➔		方向性	



対基準値: 8.5ポイント増 / 基準値からの推移:
 10年後めざそう値達成率: 80.2%
 年齢別: 差異有、職業別: 差異有、地区別: 差異有
 要因: 広報紙を始めとした様々な広報媒体の効果と想定。年齢別は65歳以上が他の年齢に比べて低い。

指標の推移	対基準値	改善	対前年度	悪化	指標の推移
-------	------	----	------	----	-------

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 まちづくり指標は、対基準値で改善しているが近年は横ばい傾向である。職業別では、無職、その他の割合が低い一方、自営業、パート・アルバイト、主婦(家事専業)などの割合が高く、広報紙を市からの情報提供手段として利用している市民アンケート回答者は81.9%であり、広報紙を中心に、CATVやFM放送等と連携した情報発信が効果をあげていると考える。
 今後も、しっかりと「伝わる」広報を意識しながら、市民ニーズを適切に把握した情報の発信・公開・収集に積極的に取り組んでいく。また、プライバシーの侵害にならないよう個人情報の取り扱いについては十分に注意していく。

成果動向	順調	横ばい	順調でない
------	----	-----	-------

単位施策及び成果指標の動向等

単位施策の名称	成果動向	成果指標の名称	対	対	
			基準値	前年度	
01 情報の発信と公開を推進する	順調	3711 市からの情報を欲しいときに手に入れることができると思う人の割合	改善	悪化	
		事務事業の成果状況	向上 (0)	維持 横ばい (5)	低下 (0)
		02 情報の収集を推進する	順調	改善	悪化
03 市民のプライバシーを保護する	横ばい	3731 プライバシーの侵害に関して市に寄せられた苦情の件数(年間実績)	悪化	改善	
		3732 情報セキュリティに関する講習を受けた職員の割合(受講者/全職員)	改善	悪化	
		事務事業の成果状況	向上 (0)	維持 横ばい (0)	低下 (0)
事務事業の成果状況	向上	維持 横ばい	低下		

東海市施策評価システム 施策評価表

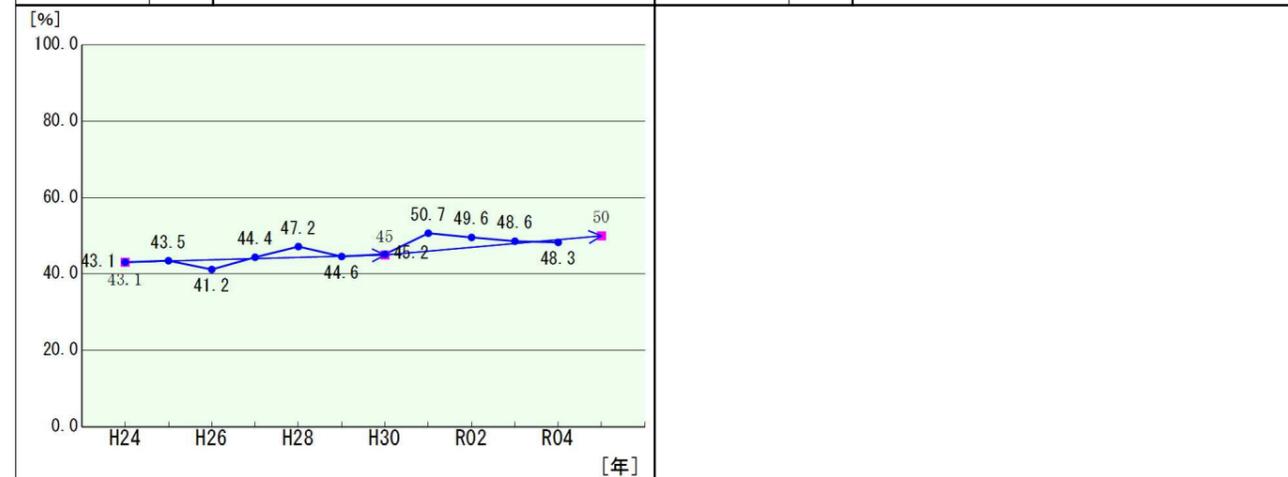
出力日: 2023年6月16日

施策	38 効率的で健全な行財政運営を進める
----	---------------------

体系	地域づくり・行政経営			理念	快適
章	地域づくり・行政経営			理念	快適
めざすまちの姿	効率的で健全な行財政運営がされている				
施策主管課	企画政策課				

まちづくり指標

指標	0049	住みよいまちづくりのために、税金が有効に使われていると思う人の割合	指標	
方向性	➔		方向性	



対基準値: 5.2ポイント増 / 基準値からの推移:
 10年後めざそう値達成率: 75.4%
 年齢別: 差異有、職業別: 差異有、地区別: 差異無
 要因: 若年層の数値の伸び率が高く、中心市街地のにぎわいづくり等が評価を得ているものと想定。

指標の推移	対基準値	改善	対前年度	悪化	指標の推移
-------	------	----	------	----	-------

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調と評価する。
 まちづくり指標は、基準値を上回る水準を維持しているなか、特に10代の数値が伸びており、太田川駅周辺のにぎわいづくりや桜まつり等のイベントなど、若い世代が参加しやすく、楽しめる事業を展開してきたことによるものと考えられる。職業別では、自営業の人の数値が低下しており、引き続き行政の事業者支援や市民生活への支援が求められていると考える。
 今後も少子化・超高齢化社会の進行や将来的な人口減少を見据え、行政改革を通じた行政資源の最適化を図りながら、社会経済情勢の変化を適切に捉え、市民ニーズに合った市政運営を推進していく。

成果動向	順調	横ばい	順調でない
------	----	-----	-------

単位施策及び成果指標の動向等

単位施策の名称	成果動向	成果指標の名称		対基準値	対前年度	
		指標ID	指標内容			
01 効率的な市政運営を行う	順調	3811	広域事務事業の数	改善	横ばい	
		3812	組織間の連携が図られていると思う職員の割合	改善	改善	
		3813	行政改革による事務改善達成率	改善	改善	
事務事業の成果状況	向上	(2)				
	維持 横ばい	(23)				
	低下	(1)				
02 健全な財政運営を行う	---	3821	経常収支比率	-	-	
		3822	実質公債費比率	-	-	
		事務事業の成果状況	向上	(0)		
	維持 横ばい	(0)				
	低下	(0)				
03 公正な課税と納税意識を高める	順調	3831	収納率(市税現年課税分)	改善	横ばい	
		事務事業の成果状況	向上	(0)		
			維持 横ばい	(8)		
	低下	(0)				
事務事業の成果状況	向上					
	維持 横ばい					
	低下					
事務事業の成果状況	向上					
	維持 横ばい					
	低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月17日

単位施策	01	効率的な市政運営を行う
体系	地域づくり 行政経営	
章	理念	快適
施策	38	効率的で健全な行財政運営を進める
単位施策主管課	企画政策課	

成果指標										
指標番号	3811	広域事務事業の数				指標番号	3812	組織間の連携が図られていると思う職員の割合		
方向性	→					方向性	→			
単位	基準値	R02	R03	R04	単位	基準値	R02	R03	R04	
事業	11	14	14	14	%	56.4	66.6	63.5	64.9	
指標の推移	対基準値	改善	対前年度	横ばい	指標の推移	対基準値	改善	対前年度	改善	
指標番号	3813	行政改革による事務改善達成率				指標番号				
方向性	→					方向性				
単位	基準値	R02	R03	R04	単位	基準値	R02	R03	R04	
%	78.9	71.4	76.9	84.6						
指標の推移	対基準値	改善	対前年度	改善	指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)						
活動進捗	非常に順調	0	予定通り	25	遅延あり	2
成果状況	向上	2	維持・横ばい	24	低下	1
次年度に向けての課題	あり(重大)	0	あり	12	なし	15
次年度方向性	維持	23	見直し	0	休廃止	0
					完了	4

単位施策の評価			
<p>単位施策の成果動向は、順調と評価する。 「組織間の連携が図られていると思う職員の割合」は基準値から8.5ポイント向上し、役職別では主事・主事補級が向上しており、この職域の数値において、基準値からこれまでの間で最も高い結果となっていることから、若い世代において組織間・政策間で連携が浸透・定着してきているものと考えられる。また、「行政改革による事務改善率」は5.7ポイント向上した。デジタル技術の活用による業務改善やコミュニティを中心とした地域運営体制づくりの推進等により、行政改革推進計画での評価が向上したことによるものとする。 今後も広域事務の推進、組織間の連携、事務の改善等効率的な市政運営を推進していく。</p>			
成果動向	順調	横ばい	順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	170	広域行政推進事業	企画政策課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
2	177	総合計画策定事業	企画政策課	予定通り	向上	なし	維持
3	179	職員提案事業	企画政策課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
4	2865	産学官連携まちづくり事業	企画政策課	予定通り	維持 横ばい	なし	完了
5	1696	姉妹都市人事交流事業	職員課	遅延あり	維持 横ばい	あり	維持
6	61	職員研修開催事業	職員課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
7	64	職員派遣研修事業	職員課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
8	152	職場研修事業	職員課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
9	153	労働安全衛生研修事業	職員課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
10	154	職員メンタルヘルス対策事業	職員課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
11	2168	旅券発給事業	市民窓口課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
12	2009	証明書コンビニエンスストア交付事業	市民窓口課	予定通り	向上	なし	維持
13	2509	住民基本台帳システム等端末機購入事業	市民窓口課	予定通り	維持 横ばい	なし	完了
14	3195	戸籍情報システム整備事業	市民窓口課	予定通り	維持 横ばい	なし	完了
15	3249	戸籍事務マイナンバー制度対応関連機器整備事業	市民窓口課	遅延あり	低下	あり	維持
16	3258	住民基本台帳システム標準化移行準備事業	市民窓口課	予定通り	維持 横ばい	なし	完了
17	1440	コンビニエンスストア交付システム運用保守経費	市民窓口課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
18	3210	行政手続オンライン化環境整備事業	デジタル推進課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
19	2840	AIロボティクス運用保守経費	デジタル推進課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
20	2384	あいち情報セキュリティクラウド負担金	デジタル推進課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
21	2993	Web会議システム運用保守経費	デジタル推進課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持

